

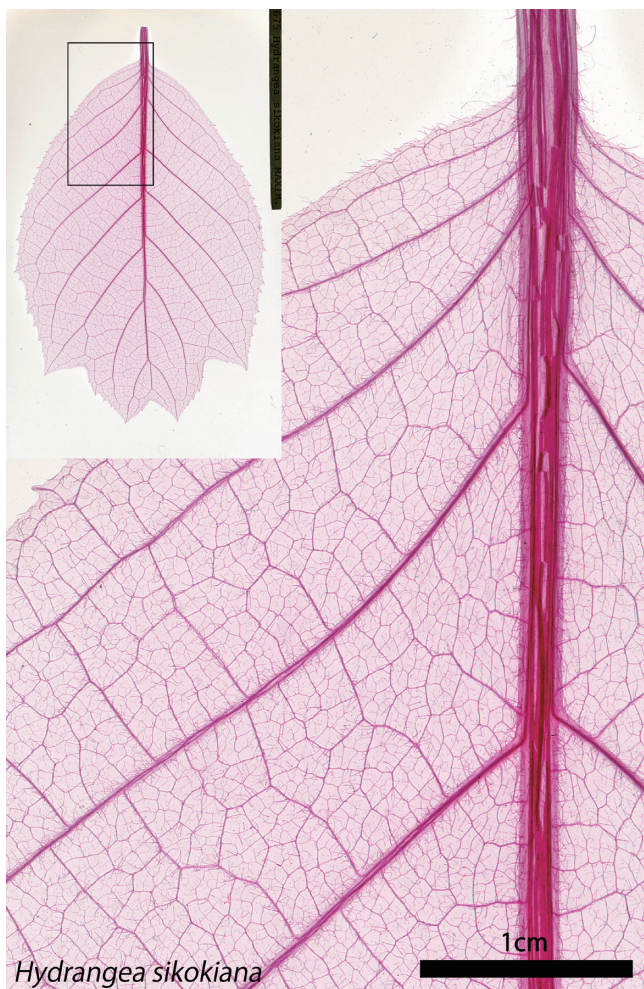
自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 19, No. 1

神奈川県立生命の星・地球博物館

Mar., 2013



Hydrangea sikokiana



Cybister chinensis ♂



Cybister chinensis ♀



Dytiscus pisanus ♂



Dytiscus pisanus ♀

植物・昆虫の標本画像データベース構築をめざして

ヤハズアジサイの葉脈標本画像 (KPM-NE0000356) (左図上が全体図, 下が拡大図)。二次脈や脈端の構造まで観察できる。熊谷拓朗 撮影

雌雄や種類によって色彩や形状の異なるゲンゴロウ類。右図の上段がゲンゴロウ属 *Cybister*, 下段がゲンゴロウモドキ属 *Dytiscus*。左側が雄 ♂, 右側が雌 ♀。佐野真吾 撮影

おおいし わたる

大西 亘 (学芸員)

当館では、「魚類写真資料データベース」を国立科学博物館と協力して構築し、2004 年よりインターネットから利用できる画像データベースとして公開しています。「魚類写真資料データベース」は 2012 年 9 月の時点で累計アクセス数が 2,500 万件を突破しました。魚好きの一般の方だけでなく、魚類研究者などの専門家にも利用されるなど、日本だけでなく世界中の多くの人に利用されています。「魚類写真資料データベース」は、直接来館することがなくても、様々な形で博物館が利用されている一つの例と言えるでしょう。現在、植

物・昆虫についても、タイプ標本などの貴重な標本を含む標本画像データベースの構築と公開を目指した取り組みを進めています。こうした取り組みは遠隔地からでも標本の様子を知ることができるだけでなく、展示しきれない収蔵資料への注目や、研究者の新しい発見につながることもあるかもしれません。標本や資料と博物館利用者を仲立ちすることで、時間や空間を越えて自然史のふしぎに迫る機会が、より多くの人に広がるよう、博物館では様々な取り組みを続けています。(詳細は 4 ~ 5 ページ参照)